

大きな海原を勇壮に走る “北田 浩” 氏

40歳でヨットに出会い、これまでに3度大西洋の横断を達成したオーシャンセーラー。愛艇の《^{きほ}貴帆》は奥様と娘さんの名前から一文字ずつもらって命名したという。



40歳の頃から国内のレースにエントリーし実力をつけ、45歳の時、国内最長【沖縄～東海ヨットレース】720マイルに挑戦。
 48歳で米西海岸からハワイを目指す【トランスパック】2,300マイルに挑戦。
 51歳で英プリマスから米ニューヨークまでの単独横断レース【ザ・トランザット】3,500マイルに日本人として初参戦・初完走。
 54歳で自身2度目となる単独大西洋横断レース【ルート・デュ・ラム(フランスのサンマロからグアドループ)】3,500マイルに日本人として初参戦・初完走。



操縦は衛星通信などを使いパソコンで気象解析を行いながら進行方向を決めていくデジタル仕様

東通村に凄い人がいるんです

古野牛川出身の北田浩さんは、200人の従業員を抱える会社の経営者であり、世界のオーシャンレースで大西洋の横断を3回達成した(その内2回は単独・完走)オーシャンセーラーです。

「ヨットの出会い」

ヨットに出会ったのは40歳の頃で「古野牛川出身で親が漁師だったから海や船に馴染があったんだけど、新しく家を建てる場所に海が無かったから寂しくて、庭にプールを作ったヨットを浮かべたらカッコイイかなあと思ってさ」そう話す北田さん。

実際に探していたサイズのヨットは日本では見つからなかったそうので、電話をしてもほとんどの業者からは相手にしてもらえなかったそうです。そんな中、ある業者から「小さいものは無いけれど、実際にヨットに乗ってみませんか？」と試乗を勧められて乗ってみたところ「初めてヨットに乗った時は、エンジンの音もなく波の音だけが聞こえて、風だけで進む。この感覚にはすげえ！って感動したね」と話す北田さん。